

## \*9月号\*

こんにちは、秋は「お月見」ですね！

ススキとお団子をお供えし、お月様を眺める・・・時間帯的にお子さんは夢の中でしょうか？

「十五夜」というのは、これから始まる収穫期を前に、収穫を感謝する初穂祭としての意味もあったそうです。現在は、満月の様に丸い“月見団子”と魔除けの力があるとされた“ススキ”をお供えするのが一般的なスタイルですが、9月頃に収穫をする“お芋”をお供えすることもあり「芋の名月」とも呼ばれているそうです！

童謡「うさぎ」は十五夜お月様をみて跳ねる様子が描かれていますね。

日本では古くから「うさぎが餅をついている」と言われていますが、これは月の模様がその様に見えた為だそうです。

他の国では、「カニ」や「ライオン」など、色々な物にみだてられているみたいですよ！



## MENU

### ★ こだわりの商品

～ パパ大豆入魂のおもちや ～

### ★ 【育児お役立ちコラム】パパ大豆の「ネクタイとっておんぶひも」

～ 自信と、自立心、優越感と劣等感 ～

### ★ パパ大豆の子育て豆知識

～ 父性と母性・・・そして父親像 ～

### ★ 子育て雑感

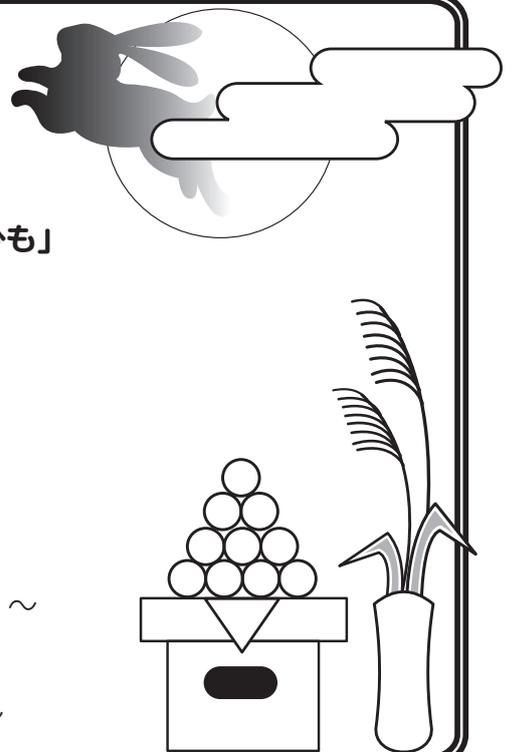
〈反抗期パート2〉

### ★ 「楽しむ子育て」を始めた方たちからの声

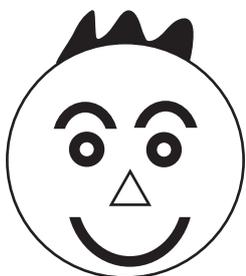
～ たくさんいただく「うれしいお声」のほんの一部をご紹介します！ ～

### ◎ 「楽しむ子育て広場」「トイフォーベビー」のご利用案内

～ 赤ちゃんに「旬のおもちや」を与えたいと思ったら・・・ ～



## パパ大豆の「子育てひとこと語録」



乳児期は、しつけはいらない。  
叱ったところで、悲しい気持ちが残るだけ。  
しつけや社会性は3歳を過ぎてからで十分

パパ大豆

## ■育児大好きワイワイ新聞 発行の主旨

「育児が楽しい」と思える気持ちを、多くの育児にたずさわる人たちと共有できたら、もっと育児が楽しくならないと思いますか？  
「わたしの子育て、これでいいのかしら?」といった悩みや不安を誰かに話し、「そういうの、あるある」と共感してもらえただけで気持ちが少し楽になる・・・なんてことはないですか？「育児大好きワイワイ新聞」は、今よりもっともっと育児を楽しんで、育児を大好きになってもらうために、発行していきます。なので、読者のみなさまも、どしどし「お声」をくださいね！ 育児の中でうれしかったこと、悩んでいること、ご意見、ご感想なんでもけっこうです。その「みなさまからの声」を、今後の編集に生かしていこうと思っています。

## 【こだわりの商品】

こんにちは、パパ大豆こと廣島です。

商品の入荷でとってもバタバタした上に、海外出張も重なって、とっても忙しい日々です！

まずは、商品のお話から。

パパ大豆が企画の段階から関わって形になったおもちゃで、わざわざ生産工場まで行って、

この目でしっかりチェックしてきた入魂のおもちゃが、現在販売されています。

それは何かというと、プレイジム2種類、やわらかボーリング、ソフトブロック、布絵本2種、ティーサー(歯固め)2種です。

どれも、パパ大豆大満足のおもちゃです。

くわしくは、裏表紙に記載されているWEBサイトへ！

これらのおもちゃをすべてご覧いただけますので、よろしければ、覗いてみてくださいね。

モバイルアクティビティ・プレイジムは、今まで「ベッドメリーにしようか、プレイジムにしようか・・・」と迷われて、お問い合わせをいただく事が多かったので、そうしたお客さまの悩みを1台で解決できるものに仕上がっているのです。とても満足しています。

それと、パパ大豆は、やっぱり電子音よりも、ゼンマイをクルクルまわして鳴らすアナログのオルゴールが個人的には好きなので(あくまで好みの問題ですが)、そういう意味でも、このプレイジムは、お気に入りです。

これからも、もっともっと「こだわり」を盛り込んで、形にしていきたいと思っています。



ジャングル・ソフトミラー・  
ティーサー  
(ライオン↓)



ソフト・ボーリング

(トラ↑)  
ジャングル・ソフトミラー・  
ティーサー



トラベル・  
プレイジム

## 【育児お役立ちコラム】 パパ大豆の「ネクタイとおんぶひも」

.....  
このコラムは、パパ大豆の育児日記「ネクタイとおんぶひも」の過去のトピックからピックアップしてお届けしています。  
.....

### <自信と、自立心、優越感と劣等感>

パパ大豆が、育児における考え方で、とても共感している、  
児童精神科医の佐々木正美先生のメッセージに、

「ありのままを承認し、子どもが望むものを基本的には認める」

というのがあります。

佐々木先生の著書より、こんな一節があります。

私も三人の子の父親ですから、親の気持ちはよく分かります。

子どもが生まれ、希望をもち、どう育てようかと思ったとき「自信のある自立した子どもになってほしい」と思っている方がおおいのではないのでしょうか。

基本的信頼感を知らずに、自信のある子ども、自立心のある子どもに育てようとすると、何でもよくできる子に育てれば、自信をもった自立した子どもになるだろうと考えがちですが、これは間違った考えです。

何かがよくできるということが、確固たる自信の背景にあると考え、それに沿った育児をされた子どもは、自分より優れた人の前では、劣等感を感じるようになります。これでは、自分よりも優れた能力を持っている人とは、友達になれません。ところが、現代っ子には、こういう子どもがたくさんいるのです。

これは、自信や自立ではなく、優越感と劣等感でしかないのです。優れた人の前で卑屈になって劣等感を感じる人は、自分よりも下の人の前で優位にたって優越感を感じるのです。

佐々木正美 著「子育てトーク」より

子どもに「自信を与えてやりたい」、そして、その自信と共に、自立心のある人間に育てて欲しい、親ならこんな風に誰しも願うんじゃないでしょうか。パパ大豆も、まったくそうです。

だからといって、具体的な「自信の素」を与えることは、子どもにとっては、本当の自信にはならず、それは単なる優越感にしかならない、というのはその通りだと思う。

そして、親として「優越感」などは望んではない。

そもそも自信や自立心は、「与える」のではなく「育てる」ものなのだと感じた。

じゃあ、「自信」や自立心を育てるって、どういうことなのか、ってことが、ボクらの関心ですよ。冒頭の佐々木先生のメッセージにその答えがありそうです。

## 【パパ大豆の、子育て豆知識】

### <父性と母性・・・そして父親像>

今日は、「父性と母性」について、考えようと思います。

パパ大豆にとっては、これは永遠のテーマなのかもしれません。いや、ホント・・・考えれば、考えるほど深いんです。

父性は男親、母性は女親。パパ大豆のうちでは、恐らく、こういう役割分担にはなっていません。

確かに母親である妻の方が、圧倒的に「母性」は豊かだとは思いますが。だからといって、かつての(一昔前の)父親(恐れ、威厳、風格)や母親(やさしさ、安らぎ)というタイプの親ではないってことです。

それが良いか悪いか、ってことじゃなくて、「スタイル」の問題です。

実際パパ大豆は、昔かたぎの家庭像って「いいなあ、すてきななあ」と思います。

ただ、ボクには出来ないし、そうする気もないだけ。(^^ゞ

そもそも、父性と母性って一体なんだろう?これを理解しようと思ったら、やっぱり、

その生物学的な背景を見てみると、一番わかりやすいのかなあ、と思います。ある本には、こんな風にかかれていています。

赤ちゃんが泣くと、母親の子宮がキューツと収縮したり、乳汁がにじみ出たりといった生理的な体の反応が出ます。

赤ちゃんのほうにも、母親に対する独特の指向性があることも様々な研究で明らかにされています。

このような生理的な、あるいは生物学的な相互反応は、たとえ育児に父親が参加しても、

父親には体験することの出来ないものなのです。

このように考えますと、母性というのは、生物学的な体感と経験を通して育まれるのに対して、父性というのは、

知識と経験を通してのみ育まれるものといえます。

帆足英一著 「わが子に「愛されている実感」を伝える子育て」より

一方で、父親には父性、母親には母性しかないのかというと、そうではないんですね。

そして、母性のなかでも、経験を通じて育まれる「母性」もあるわけです。

たとえば、母性的な特徴のひとつ「母なる優しさ」などは、父親だって、育児に積極参加すればするほど、育まれるものだと言います。これは、パパ大豆の実感としても、そう思います。

ということは「パパ大豆的父親像」というのは、母のような「やさしさ、安らぎ」と、父のような「強さ、きびしさ」の

両方の側面を持っている「パパ」なのかもしれません。この「母性と父性のバランス」こそが、

ボクの「父親らしさ」であり、ママの「母親らしさ」と区別できる特徴なのかもしれません。

そもそも、父親と母親には決定的な違いがあるんです。

これは、パパ大豆の実感でもあるんですが、女性は、おなかに赤ちゃんがやどったときから、すでに本能的に、母親になる準備をしていて、赤ちゃんをこの世に生み出した瞬間から、「母親」なんですね。

対して、父親はというと、奥さんが妊娠中は、まだ「父親」なんて実感は皆無に近いと思うんです。

そして、子どもが生まれても、父親になった実感は薄くて「目の前に赤ちゃんが誕生したから、

自分は父親になったんだ」と論理的に解釈するくらいです。その後、赤ちゃんと一緒に暮らし、

赤ちゃんの世話をするうちに、「だんだん・・・だんだん」赤ちゃんを通じ合う感覚を通して、

「俺は父親になったんだ」と自覚し始める。そんな感じなんです。(少なくともパパ大豆はそうでした)

パパとママにはそんな違いがあると思います。そこで「パパ大豆的父親像」に話を戻してみます。

「強さ、きびしさ」を象徴する「父性」と、「やさしさ、安らぎ」を象徴する「母性」

この二つをバランスよく自分の中に育てていくこと。それが「パパ大豆のめざす父親像」です。

父性や母性をどうやって育むかって?それは、子どもが、教えてくれます。

「子育て」が、それを育ててくれます。ボクはそう信じてます。

## 【子育て雑感】

### <「反抗期」パート2>

先日の反抗期の話題について、ご投稿をいただきまして、再度「反抗期」について考えてみたいと思います。まずは、こんなご投稿をいただきました。

『反抗期だからと『いや、いや』を受け止めるだけではいけないし、ルール違反をした場合は謝らないといけないと思うのですが、この時期の娘に言う事を聞かせるのはとっても大変です。パパ大豆さんのお宅では、どのように乗り越えていらっしゃるのか、メルマガ等でもいいので教えて下さい。』

いや、ホントそうなんですよ。

白いものも黒いと言い張るのが反抗期ですから、さまざまな局面で悩まされることは多いですよ。あるお母さんが、うちの掲示板に、とっても参考になる事を書いてくださいましたので、ご紹介しますね。

『怒ったら絶対聞かない。という思いがあるので、〇〇したくなかったねえ。。〇〇したかったの？なんて共感し、言いたかったことを言葉にしてやるとほんと、素直に聞いてくれます。』

このママは、3人目のお子さんが反抗期の2歳児だそうですが、さすがに上の2人の経験があるので、手馴れたものなんだと思います。一人目の時はやっぱり、『いけないことは怒って言うことを聞かせる。そして余計無茶を言う。』というパターンだったそうです。

「共感してあげる」というのは、パパ大豆もとってもいいなあって思います。言葉ではなく、心から共感する、わかってあげること。反抗期の子どもにしてみれば、肩透かしですよ。え？怒んないの？って。子どもは、無茶を言ってることがわかって言ってます。それが反抗期です。でも、反抗的な言葉や態度の裏に、必ず何かしらの主張があるんですよ。だから、そこを汲み取ってあげて、「そうだよ」とわかってあげると、子どもはとっても安心しますね。

こういう対応って、お母さん特有のものなのかもしれないです。女性ということではなく、母ということで、子どもとの意識を超えたつながりがなせる業じゃないかと思います。

パパ大豆も、心の奥の気持ちを汲み取ってあげたいと思いつつ、いまいよいよ見えません。

そんなとき、妻が「〇〇なんだよね」とか言ったりすると、「そうかあ、そういうことだったのかあ」とこっちが納得( ^\_^ )

でも、いくら母親でも、いつも心を読んであげられるわけじゃないですよ。

なんせ反抗期の子どもですから、わかりにくいこと、この上ないですから。

ボクの場合、こんな風に考えてます。基本的には、駄々をこねたとき、言うことを聞かないときは、

おさまるまで待つが、ほかに気をそらします。反抗期は反抗する中で学んでいくので、

大いに反抗させてあげることも必要だと思います。

ただし、危険なことをした場合や、人に大きな迷惑をかけた場合は、かけそうな場合は、無理にでもやめさせ、強く言います。多少「押さえつける」形になっても、いたしかたありません。

でも、ほかのお友達との軽いイザコザ程度なら、たとえこちらが悪くても、子どもに無理に謝らせるよりは、

親のほうがかわりに謝って、場をつくらせておけばいいと思っています。自分のために、親が謝る姿も、

キチンと子どもは見ている「あ～、悪いことしちゃった」とか思ってくれれば、パパ大豆は、信じています。

親としては、「共感してあげたり」「収まるまで待つてあげたり」「強く言い聞かせたり」、

場面場面で対応を使い分けることが、反抗期の子どもに接する良い方法ではないでしょうか。

ひとつお伝えしたいのは、反抗期の子どもの子育ては、とっても精神的に疲労します。

時には、子どものあまりの理不尽さに、ガマンできないこともあります。

そういう気持ちを否定しないで欲しいと思います。パパ大豆自身、自分に言い聞かせるつもりで、そう思います。

切羽詰ったら、限界が来る前に、周りに助けを求めることが必要だと思います。

夫でも、おじいちゃん、おばあちゃんでも。精神的な疲労を抱えていては、子育てが楽しくありません。

パパ大豆は実感として思うのは、反抗期の子どもと向き合っていくと、子どものことが、

前よりもっとわかるようになるし、前よりもっと愛おしくなります。男親は特にそうだと思います。

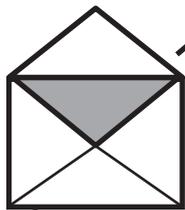
「反抗期の子育て」というと、「乗り越える」と表現しがちですが、これからは「楽しんで、過ごす」と

思ってみませんか。そして、しんどいときは、すぐに回りに助けをもとめる。共感したり、待つてあげたり、

強く言ったり、しながら、楽しく子育てしましょうよ。



「楽しむ子育て」を始めた方たちからの声  
 ~たくさんいただく「うれしいお声」のほんの一部をご紹介します!~



布絵本

くいしんぼうルーラー  
 仕掛けいっぱい絵本



まだ乳飲み子の娘に買ってあげました。  
 文章は英語ですが、動物の鳴き声を出してあげています。  
 娘もすっかり気に入り、いつも握りしめています。

happymancafe様より

一ヶ月の娘のために購入。  
 音に反応します。楽しいです。

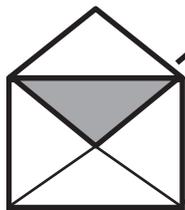
chip'n'dales様より

赤ちゃんが白黒と赤にとても反応するということで、  
 生まれる前に購入しました。  
 確かに、ベッドにつけましたがじーっと見つめています。  
 鏡もよくみていますので購入してよかったです。

ramao様より

白黒赤

先週末に白黒赤、絵本とポスターが届きました。  
 早速子どもに見せたところ、反応に驚きました。  
 ポスターを見せると、目で離さずじーっと見て、動かすと、  
 目で追います。  
 絵本を見せると、笑顔になり、楽しそうにおしゃべりをし始め  
 ます。  
 産直直前と、そのときの反応があるとは思っていただけ  
 たので、とても驚きました。  
 毎日、自分の手をしゃべったり眺めたりで、ほかのおもちゃ  
 には興味を示さなかったため、このセットを購入して本  
 当によかったと思っています。  
 先日、出産を終えたばかりの友人に、プレゼントを準  
 備していただいたのですが、今絵本を見ながら喜んでい  
 る姿を見ながら、絵本とポスターのセットをプ  
 レゼントし方がよかったです。  
 また他のおもちゃを注文しようと思っていますので、そのときは  
 よろしくお願いします。



ジム

トータルプレイグラウンド



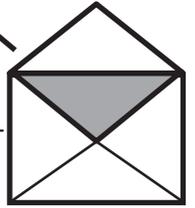
素敵なおもちゃをありがとうございました。  
 先日、3ヶ月半の息子に絵本とプレイジムを購入させていただきました。  
 絵本は届いて、すぐに読んであげたら、じっと見てその後には足をジタバタさせて、一生懸命に話しかけていました。  
 プレイジムは初めは、あまり反応がなかったのですが2、3日したら鏡を見て笑ったり、ぶら下がっているおもちゃを  
 取ろうとして喜んで遊んでいます。  
 パパ大豆さんのHPをゆっくり読みたいのですがなかなか時間がとれずにいます。  
 今度、ゆっくり見てみたいと思っています、楽しみです。  
 素敵なおもちゃをありがとうございました。  
 今後いろいろ教えてください。よろしくお願いします。

Y様より

今回は姉の出産祝いにプレイマットを購入致しました。  
 発送して頂きました商品、きちんと姉のところへ届きました。  
 姉・義兄ともプレゼントをととても喜んでくれました。  
 生後1ヶ月になる甥っ子は早くもプレイマットのおもちゃに手を伸ばし、カラコロと音を鳴らして  
 楽しんでいるそうです。  
 今後も機会がありましたらぜひ利用させていただきたいと思えます。  
 丁寧なご対応、どうもありがとうございました。

W.K様より

おもちゃ



先日、アクティビティーボールの贈答を注文しました、〇〇です。

この品物は、私自身のために昨年注文して、娘（当時6ヶ月）のクリスマスプレゼントに  
させていただきました。

娘が夢中になり（それも多様な遊び方ができるうえに、どんどん遊び方が成長していくのがよくわかりました）  
周囲の大人達にも大評判でした。

今回は、娘を出産した際とてもお世話になった方の初孫が誕生したので、  
その出産祝いに贈らせていただきました。

まだ、赤ちゃん自身は遊べないのですが、とても可愛らしい形がご両親・祖父母に大変喜んで頂けました。

「6カ月後頃には、それで遊ぶ可愛らしい表情が沢山見られますよ。」とお話ししたら、  
ますます喜んでくださいました。

これからも、出産祝いにはこの品物を贈りたいと思っています。

振り込み手数料と送料はちょっと高い気がしましたが、私の家の周辺では、このようなおもちゃが  
手に入るお店がないので、とても感謝しています。

ありがとうございました。

匿名希望様より

この度は色々ご配慮頂きありがとうございました。

「アークレインボー」は無事に先方へ届きました。

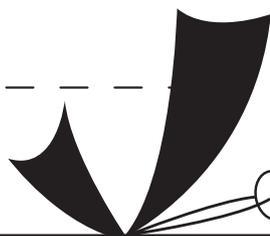
「しかし、カッコイイおもちゃだね。たぶん、子供より俺の方が興奮しているよ(^ v ^)」  
だそうです。

個人的には予想通りの反応で大満足です。

私も6月に父親になる身。なかなか高価なおもちゃばかりで正直手は出しづらいですが、  
本物と接する機会を少しでも多く作っていきたいです。

これからもどうぞよろしくお願いします。

K.S様より



白黒赤

この間メールしましたが、すぐ後に届きました。  
わざわざありがとうございます。

すぐに開封し、娘(3ヶ月)に見せてみたところ、すごい反応でした。  
それからは、見せるとご機嫌でニコニコ、興味津々な顔でキョロキョロ  
そしてたまたまなのか、絵本のお陰なのかはわかりませんが、  
その日から激しくお喋りはじめてます(笑)  
とてもいい買い物をした気分です!

今日、同じ月齢の子を連れてママ友が絵本の効果を試しに来ます(笑)

ありがとうございました。

R.T様より



TINY LOVE アクティビティ・ボール

# 『世界の赤ちゃんおもちゃトイフォーベビー』 ご利用案内

赤ちゃんに「旬のおもちゃ」を与えたいと思ったら…

トイフォーベビーで、あなたの赤ちゃんの発達ステージにピッタリ合った「旬のおもちゃ」がきっとみつかります

## ■ STEP1 まずは商品を品定め!お子さんの月齢に合ったおもちゃを見つけよう!

<http://www.toy4baby.com/>

上のURLをブラウザ(インターネット・エクスプローラーなど)に入力してください。

もし、おもちゃの選び方で迷ったら、いつでも気軽にご連絡ください!

・お電話なら…フリーダイヤル: **0120-1141922(い~よ、いくじに)**

## ■ STEP2 赤ちゃんにピッタリのおもちゃがみつかったら、早速注文!

### インターネットでご注文

ご希望の商品の商品ページの「買い物カゴに入れる」のボタンを押すと、買い物カゴに商品が入ります。さらに買いものを続ける場合は、「買いものを続ける」ボタンを押すと、先ほどの商品のページに戻りますので、続けてほかの商品を買いものしてください。

ご希望の商品がすべて買い物カゴに入りましたら、「次へ」のボタンを押して、購入情報を入力してゆきます。最後に内容を確認して、「この内容で注文する」のボタンを押せば、注文完了です。



注文後すぐに、自動返信メールにて、ご注文内容の控えをお送りしております。その翌営業日(土日除く)に、当店サポートスタッフより、ご注文確認と発送予定をお知らせします。

### FAX、Eメールでご注文

FAXフリーダイヤル : **0120-220-960** (通話料無料)

Eメール : **order@deez.co.jp**

FAXの場合お好きな用紙に下記の項目をご記入のうえ、上の番号にFAXしてください!

Eメールの場合、下記の項目を本文に書いていただいて

①名前 ②電話番号 ③商品番号・商品名・数量 ④お支払方法(代引き・クレジットカード・前払い銀行振込、郵便振替) ⑤ご注文者様住所・お届け先が別の場合お届け先住所と電話番号 ⑥宅配会社のお届け指定のご希望

### 電話でご注文

フリーダイヤル : **0120-141922(い~よ、育児に)** (通話料無料)

お気軽に、質問しながら注文してください。おもちゃについてわからない事や疑問を解決しながら、商品をお選びいただけます!

## ■ STEP3

おもちゃが届いたら、その日から、いっぱい遊んで赤ちゃんと一緒に楽しい時間を過ごしてください!